

BICSIのご案内



BICSI(Building Industry Consulting Services International:ビクシ)は、IT 情報配線システムの設計、施工技術にかかわる技術者認定資格制度と配線規格情報等の提供を目的とし、米国を中心に世界 100 カ国約2万4千名の会員(法人会員と個人会員)で構成されている非営利(NPO)の教育・認定機関です。

技術者認定資格として、①「**RCDD**」ITS の設計技術者(RCDDを受験する前にITS設計基礎プログラムに基づく試験に合格する必要があります。)、②「**RITP**」ITS の設計には従事しない営業やマネージャ向け、③「**ESS**」電子安全性とセキュリティの設計技術者、④「**NTS**」LAN とインターネットの設計技術者、⑤「**OSP**」キャンパスネットワークの設計技術者、⑥「**WD**」無線の設計技術者、⑦「**ITS インストラ1**」初級配線施工技術者、⑧「**ITS インストラ2, Copper**」中級配線施工技術者、⑨「**ITS インストラ2, Optical Fiber**」中級配線施工技術者、⑩「**ITS テクニシャン**」上級配線施工技術者等があります。また、TIA/EIAやISO/IEC等の配線規格に準拠して作成された数多くのBICSI技術マニュアルを取り揃えてあります。(補足)RCDD: Registered Communications Distribution Designer, RITP: Registered Information Technology Professional, ESS: Electronic Safety and Security Specialist, NTS: Network Transport Systems Specialist, OSP: Outside Plant Specialist, WD: Wireless Design Specialist

海外、特に米国ではRCDD 資格取得業者を指定する入札案件比率は60%となっています。BICSI 資格は権威があり、国際化に伴って今や全世界のグローバルスタンダードの資格になってきています。日本においても、BICSI 設計手法を取り入れたネットワークシステム提案やBICSI 資格にかかわる商談が増えてきており、BICSI が入札条件になった事例が出ています。

BICSI 日本支部の活動

1998年7月から BICSI 日本支部設立を目的としたボランティア団体「BICSI-Japan設立準備委員会」は、日本における BICSI 普及活動に取り組んできました。2001年7月1日、BICSI 米国本部から承認を受け BICSI 日本支部が設立されました。

主要な活動

①BICSI 技術教育認定プログラムの実施(技術研修トレーニング、RCDD 資格試験、日本支部カンファレンス、セミナー等)、②BICSI マニュアルの販売(通信用語辞典、通信配線設計/施工、ネットワーク設計、キャンパスネットワーク設計、無線ネットワーク設計等に関するもの)。③最新情報配線システム技術情報の提供。(BICSI 入会申請用紙は、ホームページから入手できます。)

BICSI 日本支部 (<http://www.bicsi-japan.org>)

〒254-0045 神奈川県平塚市見附町 23-19-501

TEL/FAX:0463-74-6030 email:kkato@bicsi.org